

Community Art Festival

3連続講座

参加無料
定員20名

－学生のまち京都の大学生による文化政策リサーチ&情報発信事業－

きみも地域のアート・フェスティバルに参加しよう！

京都府で平成23年に国民文化祭が開催されます。京都で芸術文化活動にたずさわる人には、おおきなチャンスとなるイベントです。これを一つのきっかけとして活動を飛躍させるにはどうすればよいか。地域のアート・フェスティバルの第一線で活躍する講師とともに、これからの活動を一緒に考えませんか？

講座1：「天若湖アートプロジェクト／風景とコミュニケーション」

日時：1月16日（土）13：00～15：00

講師：下村泰史（京都造形芸術大学准教授）

1964年生まれ。2歳のとき「おはなはん」の天才子役として芸能界にデビューするも、その後造園学を志し、東京大学にて緑地計画学を修め、1990年都市設計、緑地計画の実務に従事。2001年より京都造形芸術大学にて、都市デザイン、ランドスケープデザインの教育、研究にあたる。桂川流域ネットワーク、天若湖アートプロジェクト、NPO法人アート・プランまぜまぜ、NPO法人森林再生支援センター等の市民グループに関わり、ファシリテータとして多様な声の中から立ち現れる風景を構想している。現在、ポエトリー・リーディング、ホームイといった試みを通じて、自身の声をも拡張中。

講座2：「アート・プロジェクトの現場大解剖」

日時：1月23日（土）13：00～15：00

講師：芹沢高志（P3 art and environment エグゼクティブ・ディレクター）

1951年東京生まれ。89年、P3 art and environmentを設立。以後、現代美術、環境計画を中心に、数多くのプロジェクトを展開している。帯広競馬場で開かれた国際現代美術展『デメーテル』の総合ディレクター（2002年）。横浜トリエンナーレ2005キュレーター。アサヒ・アート・フェスティバル事務局長（2002年～）。別府現代芸術フェスティバル2009『混浴温泉世界』総合ディレクター。著書に『この惑星を遊動する』（岩波書店）、『月面からの眺め』（毎日新聞社）、訳書にバックミンスター・フラー『宇宙船地球号操縦マニュアル』（ちくま学芸文庫）など。

講座3：「地域をいきいきさせるアート・マネジメントのススメ」

日時：1月30日（土）13：00～15：00

講師：寺脇 研（元文部科学省／京都造形芸術大学教授）

1952年福岡県生まれ。東京大学法学部卒。文部省入省、2006年退官。在職中から日本映画評論家として活躍。京都造形芸術大学教授、日本映画映像文化振興センター副理事長。著書「何処へ向かう教育改革」「格差時代を生き抜く教育」「韓国映画ベスト100」など多数。京都文化塾ふるどくしゅん塾長、FM放送京都山上ラジオカフェ「京都寺子屋文化塾」パーソナリティー、東京ではカタリバ大学学長。

■参加対象：アートやアート・プロジェクトなど地域での芸術活動に関心のある方ならどなたでもOK

■会場：でまち家（今出川通寺町下ル：地図参照）

■お申し込み・お問い合わせ

アート・コミュニケーション・デザイン
E-mail : ctc50s50@m09.alpha-net.ne.jp

■主催：文化庁／第26回国民文化祭京都府実行委員会／アート・コミュニケーション・デザイン／同志社大学 社会・芸術国際研究センター

